POWER UP
INTERVIEW

株式会社FREE FORM 代表取締役 能勢山（のせやま） 陽生（ようき） 氏

海外直輸入の商品、専門店としてのサービスを古町から届けたい

古町通にある「FREE FORM」と姉妹店「PAX-shoes&bag」は、靴とバッグ、アパレル、革製品などを取り扱うセレクトショップ。開業当初から「ここにしかない」品揃えにこだわり、独自の世界観を作り上げてきた能勢山社長にお話を伺いました。

PROFILE

1967年生まれ、阿賀野市出身。1990年から大阪で美術造形の仕事に従事する。新潟での起業を目指し、1999年から新潟商工会議所などに相談。「チャレンジショップ」の出店者に採用され2000年に帰郷。同年10月、古町通5番町にFREE FORMをオープンする。

株式会社FREE FORM
〒951-8063 新潟市中央区古町通5-599-1

FREE FORM
営業時間：11:00～19:00　定休日：火曜日
TEL：025-226-7881　http://www.freeform.jp/

PAX-shoes&bag
〒951-8063　新潟市中央区古町通5-593 桂ビル1階
TEL：025-223-7112
営業時間：11:00～19:00　定休日：火曜日

BLOG
URL　https://ameblo.jp/freeform-niigata/

インスタグラム
URL　https://www.instagram.com/freeform_5_/?hl=ja

これまで何度も困難な状況がありましたが、私共を頼って来てくださるお客様に助けられてきたことが何より嬉しいです

大人の女性に似合う上質でエレガントな商品が多いFREE FORM。見た目と使いやすさが両立したものをセレクトしており、靴・バッグ・洋服のトータルコーディネートを提案できるのが強みとなっている。

チャレンジショップへの応募が出店のきっかけに

インポートの靴とバッグを中心に取り扱うFREE FORMは、2000年10月に開業。新潟市と新潟商工会議所が新規開業者を支援する「チャレンジショップ」としてスタートした。「1999年の２月頃から新潟で店を出す計画を立て、まずは当時住んでいた大阪の商工会議所から新潟の商工会議所を紹介してもらいました。何度も夜行バスで新潟に通い、古町周辺に出店場所がないか相談をし、古町の商店街組合にも直接足を運びました。そんなとき商工会議所の担当の方からチャレンジショップへの応募を勧められ、無事採用されたのです」と能勢山社長は語る。

さまざまな支援が助けに。注目され大きな集客効果も

こうして念願だった古町に出店が決まったことから、運転資金としてマル経融資制度（小規模事業者経営改善資金融資）※を利用。また、チャレンジショップ事業の支援として1年間の家賃補助をはじめ、記帳のやり方など初歩的な会計処理について教えてもらえたことも助けられたという。「出店が地元のニュースで取り上げられたことで注目を集め、集客にも大いに役立ちました。ただ右も左も分からない状態で始めたので、店舗運営についての相談先、在庫管理や仕入れ、宣伝などについて勉強できる先を、商売が不慣れなうちにもっと教えてもらえばよかったかもしれませんね」と当時を振り返る。

他店とは異なる品揃えと丁寧な対応が店づくりの土台

FREE FORMはイタリア・スペイン・ドイツなどのヨーロッパから直輸入した商品をメインに取り揃えているのが特徴。お客様に合った靴・バッグ・洋服のトータルコーディネートを得意とし、靴選びでは足の採寸、履き心地の微調整などフィッティングを重視している。「購入後に使いやすい、履きやすいと感じていただけるように、仕入れの段階からフィッティングまでを意識して取り組んできました。20年間商売を続けてこられたのは、こうした土台があったから」だと語り、長年の努力に裏付けられたプロとしての自信が伺えた。

今後はWebでの宣伝と販売に力を入れたいという能勢山社長。商店街の活動を通して古町復興の難しさも実感している。「個人的にはスピードや大量消費を追い求める街ではなく、人がゆったりと生きていける街になればいいなと思います。来た人にホッと感じてもらえる街づくりが、古町地区には合っているのではないでしょうか」と語る。

昔も今も個性を持った店が集まる古町。店主たちのこだわりや思いが、未来の商店街を支えていくに違いない。

姉妹店のPAX-shoes&bagはメンズや革小物にも力を入れている。

※
マル経融資制度（小規模事業者経営改善資金融資）
詳細はコチラ